武藤圧制理事会打倒！
中教審答申＝大学治安立法粉砕!!
全国学園闘争勝利!!!

CONTESTATION

創刊号
一部20円

立命館大学
全学共闘会議
法学部闘争委員会
機関誌編集局
発行

5・31法学部闘争委員会第2回大会報告

闘う法学部生に発する痛憤のアピール

法学部闘争委員会第2回大会闘争宣言

5.20をもって、我々法学部闘争委員会は、実践に即応する時となった。今、我の我々の闘争は、今まで以上に多くの困難が予想される。我々は、5月20日に開催した第一つの事実に、さらに新しい事実を加えつつ、また、こういった状況の中で、我々は、自己に課せられた使命を遂行しつつ、第3回法学部闘争委員会大会を開催する。

大会には、法学部の学生が多数参加し、闘争法に対する意見を述べ合い、2回大会の報告として、我々の基本・斗争宣言を採択する。

五月二十五年春七時、武藤理事長が、武藤理事長と武藤理事会が開催する。

青年武藤理事長と武藤理事会が開催する。この間ずっと武藤理事会は、暴力的な武藤理事会の中の多数を支える広範な学生の中から、

新しい価値への呼びかけ

わだつみ像論争へ

一九五一年、日本共産党主流派の共産党の綱領と、わだつみの像は同一の日に誕生した。

戦争中、「学徒出陣」で、戦争に駆り出された学徒たちは、「戦争は、国家のためだ、天皇のためだ、お国のためだ」という教育を受けて、戦争に駆り出されていった。

戦争は、国家と国家の争いであり、国家と国家の争いは、国民と国民の争いであり、国民と国民の争いは、人と人の争いであり、人と人の争いは、個人と個人の争いであり、個人と個人の争いは、自己と自己の争いであり、自己と自己の争いは、自己の内面の争いであり、自己の内面の争いは、自己の内面の平和と民主主義の争いであり、自己の内面の平和と民主主義